

調査委員会における調査研究報告書

教科名（ 音楽 ）

調査研究の観点	所 見	
	発行者（教育出版） 発行者番号（17）	発行者（教育芸術社） 発行者番号（27）
1 内 容	<p>【器楽領域】</p> <p>①第1学年の鍵盤ハーモニカの導入で、息の長さ、強さを図で示したり、二次元コードで読み込んで音と図を対応させて示されたりして、見開き2ページで取り上げている。ページごとに、鳴らす音と指の番号を、見開き下の大きな写真で示している。</p> <p>②第3学年のリコーダーを用いた最初の題材で、1ページの写真でリコーダーの各部分の名称を示し、様々なリコーダー曲や、いろいろな音域のリコーダーの曲の鑑賞から始まる。リコーダーを用いた学習は、歌唱、鑑賞などを挟みながら指導する取扱いになっている。</p> <p>【音楽づくり領域】</p> <p>③第5学年では、参考となる鑑賞曲を示し、リズムのずれを生かした活動を取り上げている。和音を使った旋律づくりは、「茶色の小びん」の和音進行でつくる。旋律の例は、階名をカタカナで高低を付けて示している。</p> <p>④第6学年「言葉をもとにリズムで遊ぼう」「じゅんかんコードをもとにアドリブで遊ぼう」「役割を決めて音階をもとにした音楽をつくろう」の3つの活動が掲載されている。「音階をもとにした」音楽づくりでは、関連する鑑賞曲が挙げられている。楽譜にせず、条件をもとに即興演奏をする学習活動が設定されている。</p> <p>【歌唱領域】</p> <p>⑤第4学年の内容で、最初の教材から声を重ねて歌う楽曲が掲載されている。</p> <p>【鑑賞領域】</p> <p>⑥第1学年・第2学年の内容で、体を動かして鑑賞する楽曲がある。</p>	<p>【器楽領域】</p> <p>①第1学年の鍵盤ハーモニカの導入で、楽器の大きな写真や子供が楽器を扱っている様子の写真、図などで見開き4ページに渡り、取り上げている。最初に鳴らす「ド・ソ」の音には、鍵盤ハーモニカの大きな写真が示されており、ド～ソの音では、鍵盤の場所と指使いは挿絵で示されている。</p> <p>②第3学年のリコーダーを用いた最初の題材で、5ページ目まで楽器の各部分、姿勢、息などについて大きな写真や絵を入れて示されている。1つの題材でソラシドレの音を習得し、次の題材でリコーダーを含めた簡単な合奏や、2曲のリコーダー曲に取り組む。4つの題材に渡って、リコーダー奏を含む楽曲を段階的に指導する取扱いになっている。</p> <p>【音楽づくり領域】</p> <p>③第5学年リズムアンサンブルをつくる音楽づくりの学習では、見開きで4ページに渡り学習内容を展開している。和音を使った旋律づくりは、「静かにねむれ」和音進行でつくる。和音から音を選んで○の中に書いて旋律にする書式は、第3学年の活動から取り上げられている。ページの最後に、音楽づくりの何を振り返るかが書かれている。それらは、全ての領域において1学年分の教科書に通し番号で記載されている。</p> <p>④第6学年では、「ボイスアンサンブル」と、「和音で旋律づくり」の2つが掲載されている。「ボイスアンサンブルづくり」は、鑑賞、合奏、音楽づくりの題材構成の中で行う。イラストの吹き出しに児童の反応の例が掲載されている。「和音で旋律づくり」は、器楽曲「雨のうた」で学習するイ短調の和音を用いて展開される。学習してきたことの積み重ねが生かされるよう、これまでの学年で取り上げられてきたのと同様の構成で、「音の上がり下がり」や「ワークシート」「つくった旋律の例」が示されている。</p> <p>【歌唱領域】</p> <p>⑤第4学年の内容で、2部合唱に至るまで器楽や鑑賞を通して2声の響きが経験できるよう配慮されている。</p> <p>【鑑賞領域】</p> <p>⑥第1学年・第2学年の内容で、体を動かして鑑賞する楽曲がある。</p>
2 構成・分量	<p>①6年間を通して系統性のある題材の配列で、資質・能力を育みながら子どもたちの学びが深まるような構成になっている。</p> <p>②教材は、歌唱11、器楽11、音楽づくり3、鑑賞9（※第6学年）で配置されている。</p> <p>③学習の目標が大きく示され、大事な箇所は色を変えて意識することができるように工夫されている。</p> <p>④各学年とも巻末にまとめのページ（※第6学年 30ページ）があり、学習内容の確認ができる。</p>	<p>①6年間の学習が系統的に題材構成されており、発達段階に応じて「音楽的な見方・考え方」を働かせながら学習を積み重ねられるように構成されている。</p> <p>②教材は、歌唱12、器楽9、音楽づくり2、鑑賞6（※第6学年）で配置されている。</p> <p>③学習の目標が大きく示されている。</p> <p>④各学年とも巻末に振り返りのページ（※第6学年 32ページ）があり、学習内容の確認ができる。</p>
3 表記・表現	<p>①リコーダー運指表：第3学年カタカナでドレミ表記なし</p> <p>②写真表記等：各学年見開きで3ページ以上開く部分がある。</p> <p>③第3学年リコーダー：トーンホールに対して指番号がない。</p> <p>④第3学年リコーダー：座った姿勢の写真がない。</p> <p>⑤第1学年鍵盤：鍵盤図に階名表記がある</p> <p>⑥第1学年：音の高さについての視覚的な図には〔階段〕で表記されている。</p>	<p>①リコーダー運指表：第3学年カタカナでドレミ表記あり。</p> <p>②写真表記等：全ページ見開きで完結するため、持ちながら立つことができるようになっている。</p> <p>③第3学年リコーダー：トーンホールに対して指番号がある。</p> <p>④第3学年リコーダー：座った姿勢の写真がある。</p> <p>⑤第1学年鍵盤：鍵盤図に階名表記が段階的に示されている。</p> <p>⑥第1学年：音の高さについての視覚的な図には〔風船〕で表記されている。</p>
4 使用上の便宜	<p>①リコーダーの運指表について、第3学年～第6学年で最終ページ見開きにして大きく表示されている。演奏しながら確認できる。また、学年に応じて掲載音が違う。</p> <p>②巻末資料について、音楽を表すいろいろな言葉の表記がある。</p> <p>③二次元コードについて、読み込みでワークシートをダウンロードして入力することができる。リコーダーの指使いと演奏する動画を確認できる。</p> <p>④ねらいについて、共通教材は明示されていない。</p> <p>⑤題材名について、学ばせることを表記している。</p> <p>⑥学び方の例示について、まなびナビマークで表示されている。</p>	<p>①リコーダーの運指表について、第3学年～第6学年で巻末のまとめページに記載されている。掲載音は学年を通じて同じ。</p> <p>②巻末について、振り返りのページがある。</p> <p>③二次元コードについて、教科書の内容と同じものや、リコーダーの指使いと音を確認できる。歌唱・器楽領域の範奏や鑑賞曲の主な旋律が聞ける。音楽づくりで使用する、デジタル教材を読み込み、児童のPCで操作できる。又、つくった楽譜の音声を再生できる。</p> <p>④ねらいについて、全ての教材に明示されている。</p> <p>⑤題材名について、子供が学ぶことやできるようになることを具体的に表記している。</p> <p>⑥学び方の例示について、「思考判断表現」「知識」「技能」の3つの観点に分けて表示されている。</p>